

火災・救急件数(11月末日現在)

◆火災 112件【前年比 -3件】

◆救急 16,544件【前年比 +440件】

歳末特別火災予防運動実施中

12月15日
~31日



消えるまで ゆっくり火の元 にらめっこ

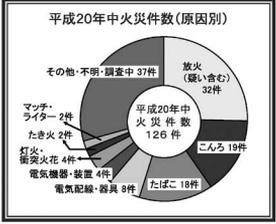
今年も残りわずかとなりましたが、日に日に寒さが厳しくなるとともに空気が乾燥し、一段と火災が発生しやすい状況になっています。そして年末の催しなど、ちょっとした注意が散見になり、ちよつとした不注意や油断が火災を引き起こす原因となつてしまします。暖房器具やガスコンロなど、火の取り扱いには十分に注意して、お出かけ前やお休み前には必ず火元の点検をお願いします。

また、消防局では毎年12月15日から31日まで歳末特別火災予防運動を実施しています。期間中は防体制を増強し、消防職員・団員が夜間パトロールを行います。みなさんも尊い命、大切な財産を火災から守るために火災予防運動にご協力をお願いします。

家庭の防火対策は出来ていますか？

昨年、市川市では126件の火災が発生しました。原因別に見ますと、放火及び放火の疑い」が32件で、17年連続出火原因第1位となつており、次に「ごんご」が19件で第2位、「たばこ」が18件で第3位となっております。

「家の周りには燃えやすい物を置かない」「調理中はコンロから離れない」「寝たばこやたばこの投げ捨ては絶対しない」など、「一人ひとり火災予防の心がけ、家の中だけでなく家の周囲も含めて防火対策を万全にしましょう。火災で亡くなられる原因は一通り遅れ」が多く、特に



65歳以上の高齢者の方が半数以上を占めています。万が一の時に備えて、住用火災警報器を設置することによって近所で助け合える関係を作っておくことも大切です。

もしも火災が起きてしまった場合は、「火事だ!」と周囲に知らせる助けを呼び、すぐに119番通報しましょう。

平成21年度緊急消防援助隊 関東ブロック合同訓練

緊急消防援助隊とは、平成7年1月の兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)の教訓から、国内で発生した地震等の大規模な災害時に都道府県を越えて、迅速かつ効果的に人命救助等の応援活動を実施することを目的に創設されました。緊急消防援助隊は、消火・救助・救急・特殊車等の部隊に区分されており、災害の種類や状態に応じて出動できるよう全国の各消防本部が部隊別にここに登録しています。平成21年4月1日現在、千葉県では207隊が登録しており、市川市はそのうち消火部隊 救助部隊 救急部隊 特殊災害部隊等、計13隊で、過去には緊急消防援助隊創設前の兵庫県南部地震平成7年、創設後の新潟県中越地震平成16年に出動しています。

関東ブロック合同訓練 今年も千葉市で開催!

この訓練は、全国を6ブロックに分けて平成8年より毎年開催されているもので、近年の多種多様な大規模災害活動時における緊急消防援助隊の技術及び連携活動能力の向上を目的として訓練を実施しています。今年11月14日(土)、15日(日)に千葉市の関東ブロック合同訓練は、11月14日(土)、15日(日)に千葉市で開催され、関東1都6県の他、静岡県、長野県、さらには福島県から合計266部隊、964名が参加して行われました。市川市からは指揮隊車1台、救助工作車1台、後方支援車2台、消防艇1艇、職員21名が加まりました。

14日(土)午前7時30分、千葉県北東部を震源とするマグニチュード6.8の強い地震が発生し、建物の倒壊や火災、土砂災害等により各地で甚大な被害が発生しているとの想定で訓練が行われました。訓練会場となった千



葉市の幕張新都心内造成地の近くにある集結場所へ各部隊が集結後、市川市の各隊は、中高層建物救出訓練と船舶火災救出訓練に参加しました。夕方からは、隊員の食・住を確保する野営訓練等を行い、1日目は終了、翌日15日(日)に解散式が行われ、全ての訓練が終了しました。来年度の緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練は、東京都で開催されます。

新春恒例 平成22年 市川市消防出初式

〔日時〕
平成22年1月9日(土)
9時30分~11時30分
※雨天時は10時から消防局5階ホールで式典のみ行います。
〔実施場所は、消防局テレホンガイドで当日の午前6時から案内いたします。〕
TEL 333・3636
〔場所〕
消防訓練場
(稲荷木2丁目地先 江戸川河川敷)

- 〔内容〕
- 部隊観閲
 - 消防功労者表彰
 - 木やり、はしこ乗り
 - 消防音楽隊ドリル
 - 消防車両分列行進
 - 救助救出訓練
 - 消防団一斉放水訓練
 - よさこいソラン
 - 《問い合わせ》 消防総務課 TEL 333・2149 (平日9時~17時)



冬本番！ 入浴中の事故にご用心！！

お風呂は、1日の疲れを取り心身ともにリラックスできる空間です。しかしそんな入浴中にも思いがけない危険が潜んでいます。それは浴室での転倒や浴槽での溺水などの事故です。

入浴中による事故は、11月から3月までの寒い時期に多発しています。暖かい部屋から冷たい浴室に移動したときやその冷たい浴室で熱いお湯の浴槽に浸かったときの大きな温度変化が心臓や血管に負担をかけ、脳卒中や心臓発作などにより、意識障害(めまい)・ふらつきなどを引き起こし、転倒や溺死事故につながるおそれがあります。そしてその多くが高齢者による事故なのです。

各のお風呂で起りぬ 事故のしくみ

- ・暖かい居間(血圧は安定)
- ・寒い脱衣所
(血管が縮んで血圧が上がる)
- ・裸になって冷たい浴室へ
(血圧がさらに上がる)
- ・熱めのお湯にじくじく浸かっ
て温まる
(血管が広がって血圧が急激に降下)

このように急激な温度変化が身体に与える衝撃を「ヒートショック」といいます。血圧の変化する幅が大きくなったり、脈拍が速くなったりして、心臓や血管に大きな負担をかけてしまいます。特に高齢者にとってはとても危険です。平成20年中、市川市では浴室内の事故が166件発生し、65歳以上の高齢者の方の事故が104件で全体の6割以上となっています。

2 浴室等の温度を上げてから入浴
高齢者や高血圧の方は、家族が入浴した後や脱衣場、浴室を十分に温めてから入浴しましょう。



声をかけたり、様子を見に行くなど注意が必要です。また、小さい子供達だけでの入浴も事故が起こりやすく大変危険ですので注意しましょう。

入浴事故を未然に 防ぐための注意点

- 1 お湯の温度は低めに設定
熱いお湯に入った時ほど血圧の低下が激しくなります。お湯の温度は39〜41度くらいで長湯をしないよう心掛けましょう。
- 2 浴室等の温度を上げてから入浴
高齢者や高血圧の方は、家族が入浴した後や脱衣場、浴室を十分に温めてから入浴しましょう。



3 入浴の時間帯を考える
気温の低い日は早めに入浴し、食事直後や深夜は入浴しないようにしましょう。また、飲酒後の入浴は特に危険ですので、やめましょう。

4 お湯の浅かり方に注意
心臓や肺の慢性疾患や高血圧症をもつ方は、「かけ湯」や「半身浴」を組み合わせたなど入浴方法を工夫しましょう。

5 浴室内の安全対策
浴室は滑りやすくパラソクをくずしやすいため、手すりや滑り止めマット等の便利な道具を利用して安全な入浴水状態を防ぐために、入浴前後には水分補給を忘れずに。

6 万が一、事故が
発生してしまった場合
「いざ」というときは人は慌ててしまい、時間だけが過ぎてしまいます。まずは落ち着いて救急活動を行ってください。

浴槽から救出できない場合には浴槽の栓を開放して顔を風呂た状態に開放し、あごを風呂たふたに置き、呼吸が出来るようにして下さい。

また、入浴事故では呼吸・脈がない状態で発見されることが多く、身近な人が素早く救急車を要請後、すぐに心臓蘇生法を実施してください。

「もつすぐお正月」 お餅などによる窒息事故にご注意！

食べ物による窒息事故は、一昨年を通して発生していますが、今年から迎えるお正月に餅料理を食べるといふ日本の食文化のためか、この時期にお餅をのどに詰まらせて窒息するという事故が増加しています。特に多いのが、嚥む力が弱くなり、詰まらせたときにむせる反応が弱くなってきた高齢者による窒息事故です。



窒息事故を防ぐ ポイント

- お餅や肉片等は、小さく切つて食べやすい大きさにしましょう。
- お茶や水を飲んでのどを湿らせるなど、水分と一緒に食事を摂りましょう。
- 急いで飲み込むことなく、ゆっくり噛んで食べるようにしましょう。
- 食事は1人でなく、家族の方などと一緒に摂るようにしましょう。

第49回市川市消防職員意見発表会

11月11日(水)に消防局5階ホールで「第49回市川市消防職員意見発表会」を開催しました。この発表会は、これからの消防業務のあるべき姿、職務においての提案・取り組み方、消防職員として普段業務を遂行している中で感じていることなどを発表し、併せて意見発表力の向上を図ることを目的として毎年開催しています。今年も各所属の代表13名が自分の消防への熱い思いをテーマにして意見を発表し、選考の結果、最優秀賞は「世代を超えて」と題して発表した西消防署府台出張所阿部



最優秀賞の阿部(左)、優秀賞の長谷川

「もしのどに詰まらせてしまったら」
チョークサインを出している時声が出せない時、顔色が真っ青になった時などは、異物が入ったことによる気道閉塞が疑われます。この可能性がある時は、まず咳をさせることが可能であれば咳をさせ、吐き出させます。咳もできずに窒息している時は、背部叩打法(はいがごうだほう)を行います。



「背部叩打法の実手順」
1ものを詰まらせた人(以下、「傷病者」という)が立っているか座っている場合は、やや後方から片手で傷病者の胸もしくは下あごを支えて、うつむかせます。傷病者が倒れている場合は、傷病者を手前に引き起こして横向きにし、自分の足で傷病者の胸を支え、片手で傷病者の頭を支えます。もう片方の手の付け根に傷病者の肩甲骨と肩甲骨の間を強く4〜5回叩きます。



2 口の中を見て異物が出てきたら取り除きます。